

高道イチローの市政改革活動報告



みんなの声を市政に届けてきました

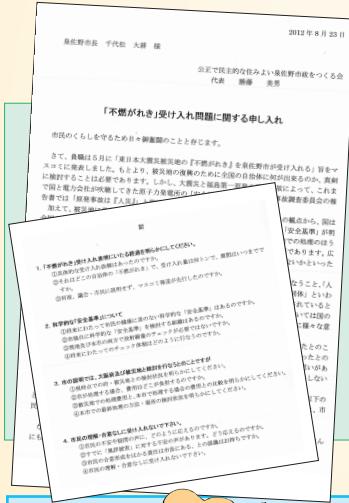
前回は次点

2010年市議選、「24票」差で次点に。涙をのむ。

市長選挙に挑戦

2011年市長選挙に「公選で民主的な住みよい泉佐野市政をつくる会」

(「つくる会」)からの要請を受け立候補。みんなの大きなご支援を受け5,047票を得票。



がれき受け入れ問題で申し入れ

東日本大震災被災地の「不燃がれき受け入れ」問題で「つくる会」とともに「つどい」を開催し、市長に撤回を求め申し入れ。市は「受け入れ検討を撤回」。

「市名売却するな」と請願人に



市の「正式名称」など命名権売却問題では、過度な有料広告募集の中止を求める、請願人代表に。結果として、市が募集した「正式名称」売却は実現せず。

☆ 憲法9条を守れ、機密保護法ストップ、消費税増税の中止などをもとめ、地域の皆さんと行動。

1 市民のくらし・福祉・教育をまもります

- ・国保料・介護保険料の引き下げ
- ・子ども医療費助成を中学校卒業までに拡充
- ・こども園の開園中止、教育基本条例の廃止

2 災害に強いまちづくりをすすめます

- ・公共施設の耐震化促進
- ・避難経路の安全確保

3 地元商工業・農林漁業の振興を図ります

- ・住宅リフォーム助成制度の創設
- ・新規就農者への支援策拡充
- ・学校給食に地元食材を導入

許
押
負
さ
な
い
け
は

府立泉州救命救急センターの市民病院への「移管」問題で、地域の「医療をよくする会」と共同。府の責任求め、年間約8億円の救命救急センターの赤字を市民病院に負担させず、ひきつき「府が補てん」することが実現。



病院問題で理事長と懇談

市政の不正常ただす

市民の方の相談を受け、市の駐輪場委託業務の不正常を昨年12月議会で議員団と連携して追及。市長は、「泉佐野市身体障害者福祉会」だけとの契約を改め、「競争入札に変更する」と答弁。他の委託業務の「検査強化」も答弁した。あの「独裁」市長が自分の方針を共産党議員団の質問で転換した、画期的な出来事です。



国家機密法案反対を訴えて駅前宣伝。▶

これからも、みんなと一緒に実現します

4 若者がはたらき暮らす、魅力あるまちづくりをすすめます

- ・若者の就労支援
- ・カジノ誘致反対

5 市民の声が届く議会・市政を実現します

- ・市政のチェック強化で、暴走市政ストップ
- ・同和行政の終結

日本共産党

市長の暴走に真正面から対決し、